

修士論文

The Title
of
Your Master Thesis

20xx 年 xx 月 xx 日 提出

指導教員 Your Professor 教授
名古屋大学大学院 理学研究科 物質理学専攻 (物理系)

your labname

Your Name

学籍番号 : Your ID

概要

先行研究では、...ということが知られている。

目次

第 1 章	序論	1
1.1	研究背景	1
1.2	本研究の目的と方法	1
1.3	本論文の構成	1
第 2 章	背景	3
2.1	はじめに	3
2.2	背景内容 1	3
第 3 章	手法と数値計算設定	5
第 4 章	結果	7
4.1	はじめに	7
4.2	結果 1	7
第 5 章	結果 2	9
5.1	はじめに	9
5.2	結果 2	9
第 6 章	結論と展望	11
6.1	結論	11
6.2	課題と展望	11
謝辞		13
付録 A	予備研究の結果	17
付録 A	解析手法について	19

第 1 章

序論

1.1 研究背景

平衡系では xxx がよく知られている [1]。一方で、非平衡系では yyy となることが知られている [2, 3]。

1.2 本研究の目的と方法

1.3 本論文の構成

本論文は本章を含め、7 つの章と 2 つの付録からなる。

- 第 1 章では本論文の位置づけおよび、本論文の構成について述べる。
- 第 2 章では本研究に関連する先行研究について説明を行う。
- 第 3 章では数値計算手法および、その設定について説明を行う。
- 第 4,5 章では本研究で得た主要な結果について述べる。
- 第 6 章では本研究の結論と今後の展望に関して述べる。
- 付録 A では本研究の数値計算に関する予備研究について述べた。
- 付録 B では解析手法について詳細な説明を行う。

第 2 章

背景

2.1 はじめに

この章で何やるかを書く

2.2 背景内容 1

第 3 章

手法と数値計算設定

第 4 章

結果

4.1 はじめに

この章でやることと結果を述べる。

4.2 結果 1

第 5 章

結果 2

5.1 はじめに

この章でやることと結果を述べる。

5.2 結果 2

第 6 章

結論と展望

6.1 結論

本研究は主に次の 2 つの点で新しい.

- 結果 1
- 結果 2

6.2 課題と展望

謝辞

本研究は, 名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻 your professor 教授のご指導のもとで行われました.

参考文献

- [1] R. Zwanzig, *Nonequilibrium statistical mechanics* (Oxford University Press, 2001).
- [2] M. E. Widder and U. M. Titulaer, “Brownian motion in a medium with inhomogeneous temperature”, *Physica A* **154**, 452 (1989).
- [3] G. Stolovitzky, “Non-isothermal inertial Brownian motion”, *Phys. Lett. A* **241**, 240 (1998).

付録 A

予備研究の結果

付録 A

解析手法について

